



### ―コロナ禍で増加する読書時間

新型コロナウイルスの影響による外出自粛などで在宅時間が増加し、ライフスタイルや時間の使い方が変化してきている今日。日本財団が全国17～19歳の男女を対象に実施した「読む・書くに関する調査」によると、約4人に1人が外出自粛中に読書量が増加したという回答の調査結果が発表されました。

中央公民館図書室（以下、「図書室」）においても、貸出し冊数と利用者数が年々増えており、昨年度の貸し出し冊数は1,894冊（前年比19%増）、利用者数は684人（前年比18%増）とどちらも前年と比べて増加しました。

### ―図書室の役割

図書室や図書館は「生涯学習の拠点」とも言われており、ただ本を貸し出すための場所ではありません。多くの辞書や辞典、図鑑を用いて調べものや自習ができる学習スペース、幼児向けの絵本や紙芝居等が揃う親子のためのスペースなど、さまざまな年代の方が利用できる地域の交流の場としての役割も担っています。



# 図書室のすゝめ

